

溶媒抽出法による県内水田土壌の地力窒素の評価

道上伸宏

摘要

県内の水田土壌を対象に、溶媒抽出法による地力窒素の簡易評価法について検討した。また、地力窒素の簡易評価法に基づく基肥窒素施肥量と‘コシヒカリ’の生育、収量及び品質との関係を検討した。

1. 島根県の水田土壌では、中性リン酸緩衝液抽出液の吸光度を波長 420nm で測定する方法が、操作上の安全性が高く、最も迅速かつ簡易な地力窒素の評価法であると推定した。
2. 平坦部‘コシヒカリ’を対象に、中性リン酸緩衝液抽出法に基づく基肥窒素の施肥基準量を、吸光度が 0.17 以下の場合 $25\text{kg}\text{ha}^{-1}$ 、0.18~0.27 の場合 $15\text{kg}\text{ha}^{-1}$ 、0.28 以上の場合は無施用の 3 水準とした。
3. 中性リン酸緩衝液抽出法による地力窒素の 3 水準評価に基づいて基肥窒素施肥を行なった結果、本県の水稲指導指針の収量目標値を満たした上で、乳白粒の発生率が 1~2 ポイント改善され、品質向上効果が認められた。